

平成27年7月12日  
今週のベストショット



雁レク軟式4 ブルーマーリンズ 対 塩浜ジャガーズ戦

雨上がりのグラウンドを必死に整備して使える状態にする三苦ホーネッツの面々。これぞファインプレイ

写真：三苦ホーネッツ 永島貴文

**雁レク軟式4 塩浜ジャガーズが序盤の大量得点で試合を決める！**

ブルーマーリンズ (5敗) 100000 1 横山(祥) ●、林-横山(健)

塩浜ジャガーズ (2勝5敗) 630011× 11 内田○-橋村

HR：内田、荒木(塩浜ジ) 3BH：橋村(塩浜ジ) 2BH：内田(塩浜ジ)

本来の試合会場は雁レク軟式3であったが、前日の雨の影響により試合が出来る状況ではなかった。そのため、試合の成立について、両チームの監督と審判チーム(ホーネッツ)の監督で協議を行ったところ、ブルーマーリンズ小柳監督の試合をしたいという強い思いに答えたいホーネッツ中村監督が、雁レクと交渉し急遽グラウンドを変更しての試合となった。しかし、変更した軟式4も状態は良くない為、グラウンド整備に時間を要し定刻より15分遅れでの試合開始となった。

一回表ブルーマーリンズは、一番井上選手が右前安打を放ち、守備がもたつく間に三塁へと進塁しチャンスを作った。その後、後続が倒れ二死三塁で打撃好調の四番桑野選手が左前安打で1点を先制した。しかし、その裏塩浜ジャガーズは、試合を決定付けた初回の大量得点を奪うことになる。ブルーマーリンズ横山(祥)投手の立ち上がりが大乱調で、一・二番が四球を選び、三番内田選手が右翼越えの3ラン、続く四・五番も連続四球を選び、七番橋村選手の三塁打等で得点を重ね初回で6点を奪い逆転した。二回裏もジャガーズの攻撃は続き、この回も先頭打者の一番竹尾選手が四球を選び、守備のリズムが再び悪くなった所で、続く二番道喜選手の当たりを

末松三塁手が失策しチャンスを広げ、三番内田選手が右翼越え適時打でさらに得点を重ねた。ここでブルーマーリンズは二番手の林投手へ交代したが、この流れは変わらずこの回3失点となり試合が決定的となった。その後もジャガーズは得点を重ね、11対1で序盤に大量得点した塩浜ジャガーズが勝利した。結果的には大差での試合となったが、試合を決めたものは両チームとも同じ6安打であったが、ブルーマーリンズの6四球4失策に対して、ジャガーズは無四球1失策と守備力の差が出た試合内容であった。

(記事・写真：三苫ホーネッツ 永島貴文)



グラウンド整備状況。



グラウンド整備が終了し15分遅れで試合開始。



本日2安打と打撃好調のブルーマーリンズ桑野選手。



初回、右翼越え3ランのジャガーズ内田選手。



二回表、ブルーマーリンズ井手選手の当たりが三塁線を襲う。



セーフティバントを試みるジャガーズ道喜選手。



守備の乱れでリズムを作れなかったブルーマーリンズ。



四回表、右翼への大飛球を捕るジャガーズ道喜選手。



四回表、代打のブルーマーリンズ中村選手。



安定したピッチングを見せた、ジャガーズ内田投手。



セーフティバントで流れを変えたい末松選手。



そのファールフライ捕らないでー!!



本日の本塁打、ジャガーズ荒木選手と内田選手。

## 奈多グラウンド 藤田選手が土壇場で魅せた豪快な一振りりでウインズサヨナラ勝ち！

三苦三球会 (4勝2敗) 0000411 6 吉留●ー藤澤

新町ウインズ (5勝2敗) 2004002× 8 藤田○ー今林

HR:濱口 (三球会) 藤田、八田 (新町ウ) 3BH:藤澤、大津 (三球会) 2BH:濱口、船橋 (三球会) 桐島 (新町ウ)

初回ウインズは、吉留投手の立ち上がりを攻め、エラーも重なり2点。その後序盤は両投手の持ち味が出て早いテンポにて試合が進む。試合が動いたのは四回裏ウインズ、先頭が出塁し連続エラーで追加点を挙げると八田選手の左中間HRで一挙4点を取り優位に進める。しかし五回表、ここから三球会の反撃が始まる。二死から三連続の長打が飛び出し4点を返す。さらに六回にもタイムリーで1点差に。迎えた最終回、先頭の濱口選手のHRで遂に同点に追い付く。流れは完全に三球会、その裏も吉留投手が二者連続の三振を奪いこのままゲーム終了かと思われたが、ウインズ三番今林選手が死球で四番藤田選手。ここまで吉留投手に抑えられていたが、最後の最後で一振りりでライトにHRを放ち大仕事をやってのけた。後半は完全に三球会のペースで試合が運んでいたが、それを自分自身で跳ね返した藤田選手にあっっぱれ。(記事:奈多クラブ 吉田貴史、写真:木伏陽一郎)



ウインズ先発の藤田投手。



三球会先発の吉留投手。



四回裏、二塁打を放ったウインズ桐島選手。



序盤に苦しむ吉留投手のもとに集まる三球会内野陣。



値千金のホームランを打った九番八田選手。



6点目のホームイン、ウインズ八田選手。



六回表、ライト線に二塁打を放つ三球会船橋選手。



三球会船橋選手の二塁打で1点差に詰め寄る



七回表、同点ホームランを打った濱口選手。



濱口選手を迎える三球会ベンチ。



サヨナラを引き出したウインズ今林孝智選手。



サヨナラホームランのウインズ藤田選手。



喜ぶナイン+安定した死球にご満悦の今林孝智選手。



熱戦後の整列。明暗がクッキリ。



本日の立役者、藤田選手（左）八田選手（右）。

青松園Aの三友クラブ対奈多フェニックス戦、  
青松園Bの三苦フレンズ対雁ノ巣ライナース  
戦は、グラウンド不良のため中止です。

## 第11週編集後記

WSLの皆さん、コンニチハ！

第11週、7月12日は前日の雨の影響で青松園A・Bの試合が中止となり、2試合が行われました。

雁レク軟式4のブルーマーリンズ対塩浜ジャガーズ戦は、試合消化のために尽力した審判チーム・三苦ホーネッツの面々の活躍で何とか試合に漕ぎ着けた。初回にブルーマーリンズ四番桑野選手のタイムリーで1点は失うものの、ヒットは打たれても点は与えないジャガーズ内田投手の好投もあり、その内田投手と荒木選手のHRなど効率的に長打を絡めたジャガーズが1-11で快勝し、2勝目を挙げた。

奈多グラウンドの三苦三球会对新町ウインズ戦は、四回までで三球会吉留投手を打ち、6-0と大量リードを奪ったウインズだったが、五回から4点、1点、1点と最終回で同点に追いついた三球会。しかし、最終七回裏、連続三振で二死から死球のランナーを置いて、ウインズ四番藤田選手のサヨナラHRで決着。しかし私の見解では、三球会ペースの終盤でも、六回裏に四球から送りバント二つで二死ながら前の打席でHRを放った八田選手（結果は三振だったが）につなげたウインズの1点への執念が藤田選手のHRに繋がったと思う。

東京オリンピックのメインスタジアムとなる新国立競技場が、建設費で予想をはるかに上回り、国民の不満が続発して実質的に白紙に戻されました。

近未来的デザインの上、全天候型で屋根を付けたりとオリンピック後も見据えたであろう新国立競技場も、見積もりの甘さが露見する結果となりました。

建設作業に入る直前のこの時期に撤回してくれてよかったと胸を撫で下ろした人は多いことでしょう。

「もっと前に気づけよ！」と突っ込みを入れたくもなります。

さて、勝負事はやってみないと分からないと言いますが、南海、ヤクルト、阪神、楽天で指揮を執った名将・野村監督はこう言っています。

「勝ちに不思議の勝ちあり、負けに不思議の負けなし。」

更に、こうも言っています。

「事前のシミュレーションが大切です。野村野球というのは、ひと言でいえば「準備野球」ですから。」

そう、何事も事前の準備力（下調べ、練習、体調管理、時間管理、氣力など）だと思います。

負ける場合は、負けるべくして負けるということです。

監督に関してもこのように言っています。

「綿密な下調べという意味では、監督は頭の中で、最低一試合につき三試合はやります。想像野球、実戦野球、反省野球。想像野球はいつも完全勝利です（笑）。そして、実戦野球のあとで、想像と実戦の間に差が出た理由を考えるのが反省野球です。」

皆さんは、打席に入る前にヒットを打った姿や、試合に臨む前に試合後の勝利して握手をしている姿が想像できていますか？

やってみなけりゃわからないでは、その場の勝利（不思議の勝ち）はあるかもしれませんが、シーズンをコンスタントに勝ち進む力や好調を維持する力にはなり得ません。

試合やシーズンが終わった時に、もっとしっかり準備しとけばよかったと思う人に今言いたいのは、

「もっと前に気づけよ！」と、今あなたが新国立競技場建設に対して思っていることと同じ言葉です。

まだシーズン半ば。

本調子でない人は健闘（検討）を期待します。

調子がいい人は、勝ち（価値）にこだわって下さい。